

区分	評価指標	H27実績	H28実績	H29実績	前年度比	図書館運営全体		
図書館運営	基本的サービス					自己評価		外部評価
	資料購入費:決算数値(千円)	21,808	18,989	15,609	0.82	・厳しい財政状況のため、資料購入費も減額となるなか、計画的に資料購入をすすめ、充実した蔵書構成となるよう努めた。坂井輪図書館ではリニューアルオープンから5年で書架を満たすという目標が計画どおり進んでいる。 ・坂井輪図書館は、毎年貸出点数は増加しているが、内野、黒埼が前年より減少しているため、西区全体では微減となった。 ・個人登録者数は僅かであるが増加しているため、これを貸出点数の増加につなげるよう工夫していく。	・予算が減らされたのが大きい。図書館の努力は評価している。 ・坂井輪図書館のスカスカ感は埋まりつつあり、厳しい財政状況でよく頑張っていると思う。 ・全部面出しの棚を作るのも面白いのではないだろうか。 ・図書館の講座やイベントの年間計画表(できれば全市)のようなものがあれば、新しい利用者の増加につながるかもしれない。 ・資料購入費はせめて現状維持をすべき。 ・ほんぼーと以外の図書館が切り捨てられることのないように、現在から何らかの準備をしておくべきではないか。 ・新潟市の厳しい財政状況の中では資料購入費が対前年減となることはいたしかたない事と思われます。 ・登録者数は千人近く増えている訳ですから貸出点数も同様に伸びるのが理想的ですが。	
	蔵書点数(点):図書・AV	179,815	183,871	183,121	1.00			
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	726,961	716,816	708,154	0.99			
	個人の登録者数(人)	19,261	19,753	20,634	1.04			
	(内新規登録者数)	2,368	2,447	2,395	0.98			
入館者数(人)	466,534	467,202	450,432	0.96				

区分	評価指標	H27実績	H28実績	H29目標	H29実績	自己評点	H30目標	評価(次年度への展開)	
施策・事業(各図書館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」					自己評価		外部評価	
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	16,565	17,406	17,570	18,187	3	18,651	・レファレンス件数の増加は、坂井輪図書館のレファレンスカウンターが周知されてきたこと、窓口で声をかけやすい環境づくりに努めたことが要因だと考える。 ・予約件数は坂井輪図書館が前年より減少したが、内野図書館・黒埼図書館の増加が減少分を上回った。坂井輪図書館は相互貸借の件数の多さが目立っている。	・レファレンス件数の増加は評価できる。 ・公共図書館が充実していることは市民にとって大変心強いことです。他の地から来た者にとっても図書館は救いです。
	個人予約件数(件)	140,162	147,344	147,500	147,765	3	148,000		
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	-	-	-	-	-	-		
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	9,587	10,115	10,200	10,692	3	11,000		
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	7,454	7,353	7,500	6,743	2	7,000	・郷土行政資料は、情報収集・資料発掘に努めたため、計画どおり蔵書冊数を増やすことができた。 ・郷土行政資料の貸出冊数目標を達成することができなかった。今後も更に魅力発信に努めたい。	・資料をPRする最も分かりやすい物はポップかと思う。薦めたいものであればそれほど視覚に訴える工夫をもう少し頑張ってほしい。 ・郷土資料の冊数が着実に増加してとても良いと思う。 ・シニア世代に向けて読書や図書館の魅力を発信してリピーターを増やすことが大切と思う。
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	0	1	1	0	1	1		
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	7	5	5	2	1	2		
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」					自己評価			
	児童書の貸出冊数(冊)	191,071	191,545	192,000	197,126	3	197,100	・児童書については、読み聞かせて使用した本やテーマ展示に努めた結果、目標を約30%上回る貸出冊数となった。 ・子ども親子対象事業の参加者数の増加は、カウント方法の変更による。 ・職場体験受入人数については、28年度は通常以外の急な依頼の受け入れがあり多くなっていたが、29年度は通常ベースに戻ったものである。 ・職員の派遣については、前年度と比較して依頼が少なかったため目標を達成できなかった。 ・公民館等との連携・協働については、前年度と同じく3回実施することができた。	・子どもたちに読書の楽しさを伝えることをこれからも続けてほしい。 ・職員の派遣は子育て関連が多いが地域の学校にも出掛けて児童生徒に本を伝える機会を増やしてほしい。地域コーディネーターにもPRが必要と思う。 ・「公民館等との連携・協働」については、坂井輪図書館に関しては大変うまくいっているのではないかと感じている。
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	3,136	3,191	3,200	4,200	3	4,200		
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	3,772	3,530	3,265	4,266	3	4,000		
	職場体験受入人数(人)	10	45	15	20	3	34		
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	19	26	26	14	1	14		
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	2	3	1	3	3	3		
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」					自己評価		外部評価		
図書館ボランティア活動者数(延人数)	1,099	1,074	1,100	870	1	870	・図書館ボランティア活動者数の減は、坂井輪図書館の書架整理ボランティア数の減少による。 ・今後は、活動のPRに努めるとともに図書館とボランティアのより良い関係を継続していきたい。	・ボランティアの方々との良い関係を継続してください。 ・数値目標は必要だが、あまりこだわらなくて良いと思う。 ・図書館ボランティア活動者数の減の責任が図書館にある訳ではないと思う。図書館の使命はボランティアの数を増やすことではないと思う。	
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	-	-	-	-	-	-			
利用者の意見を把握する機会の設定(回)	5	5	5	5	2	3			
共催・協働事業の実施件数(件)	31	30	30	31	3	33			
効率的・効果的な運営(職員)					自己評価		外部評価		
研修参加職員数(延人数)	136	167	167	112	1	105	職員のスキルアップのため、可能な限り内部研修、外部研修に参加するよう努めたが、もっと身近な図書館サービスに関わる事務の増加などにより目標を達成できなかった。	・職員のスキルアップは大変重要なのでこれからも継続してください。良い図書館は本と人です。 ・日常の業務で大変だとは思いますが、外部研修になるべく多く参加してほしい。 ・事務の効率化を図り、研修に充てる時間を確保するようご努力願いたい。	

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った